

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7 年 6 月 30日

豊 田 市 長 殿

提出者 愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地
住 所 株式会社デンソー氏 名 林 新之助
(法人にあつては、名称及び代表者氏名)
電話番号 0566255511

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和6年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社デンソー 広瀬製作所
事業場の所在地	愛知県豊田市西広瀬町桐ヶ洞543番地
事業の種類	29 電気機械器具製造業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	83t	全 処 理 委 託 量	83t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への処理委託量	83t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	80t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への処理委託量	3t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

電子情報処理組織の使用に関する事項

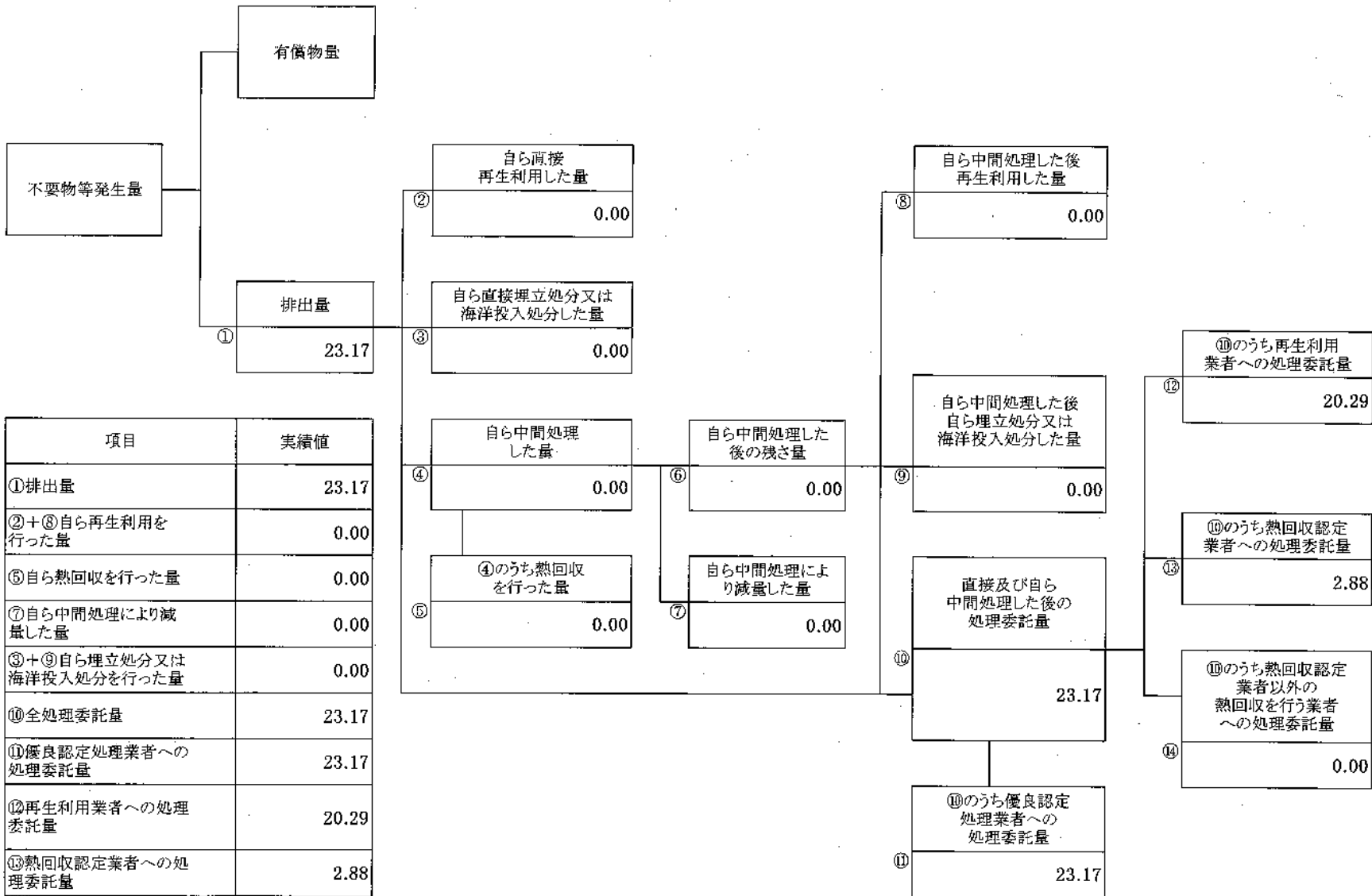
特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	前々年度 92t 前年度 85t
(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組) 全て電子情報処理(マニフェスト対応)業者と契約している。今後も継続実施する。	

※事務処理欄

(日本産業規格 A列4番)

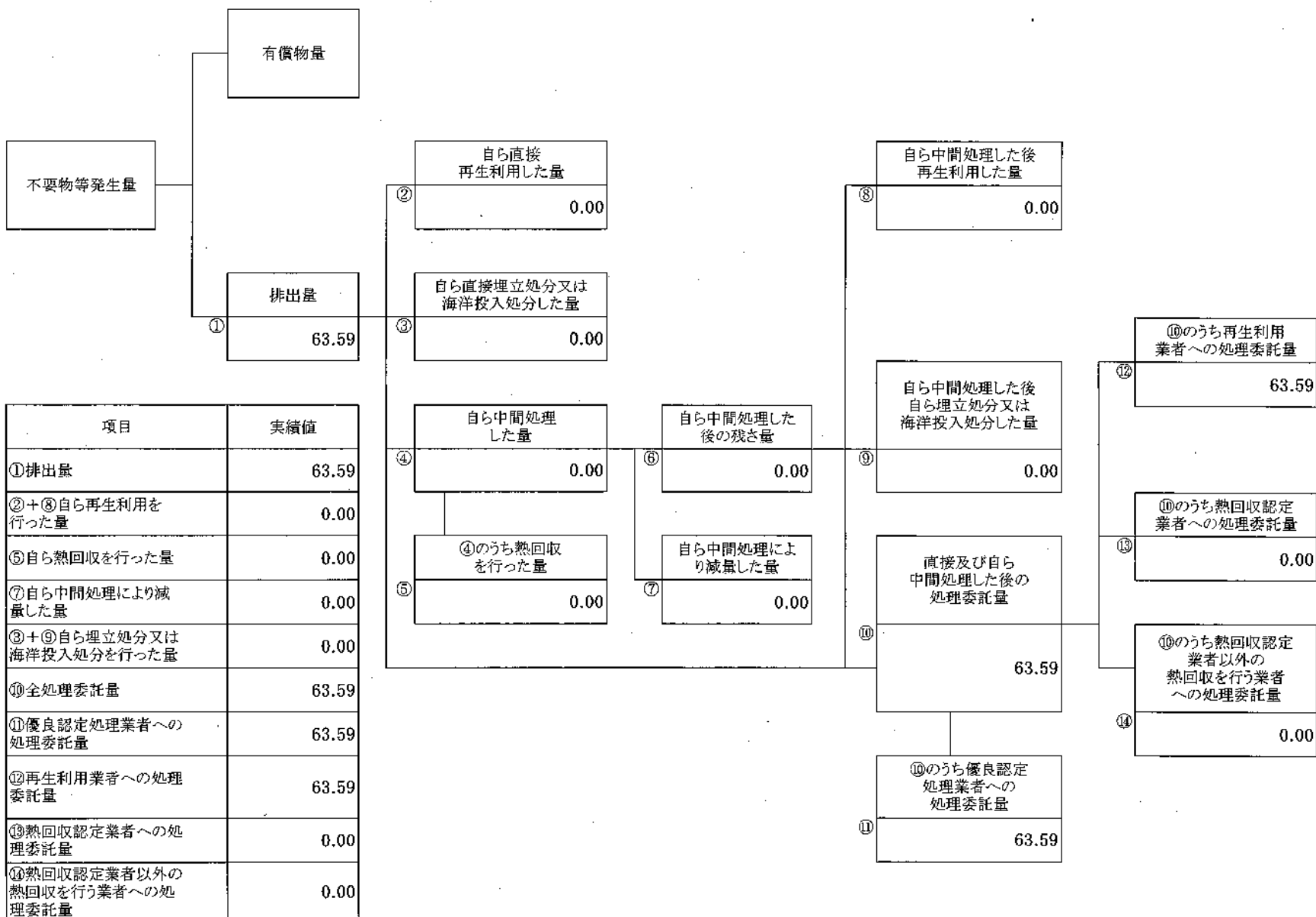
計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類:燃えやすい廃油)



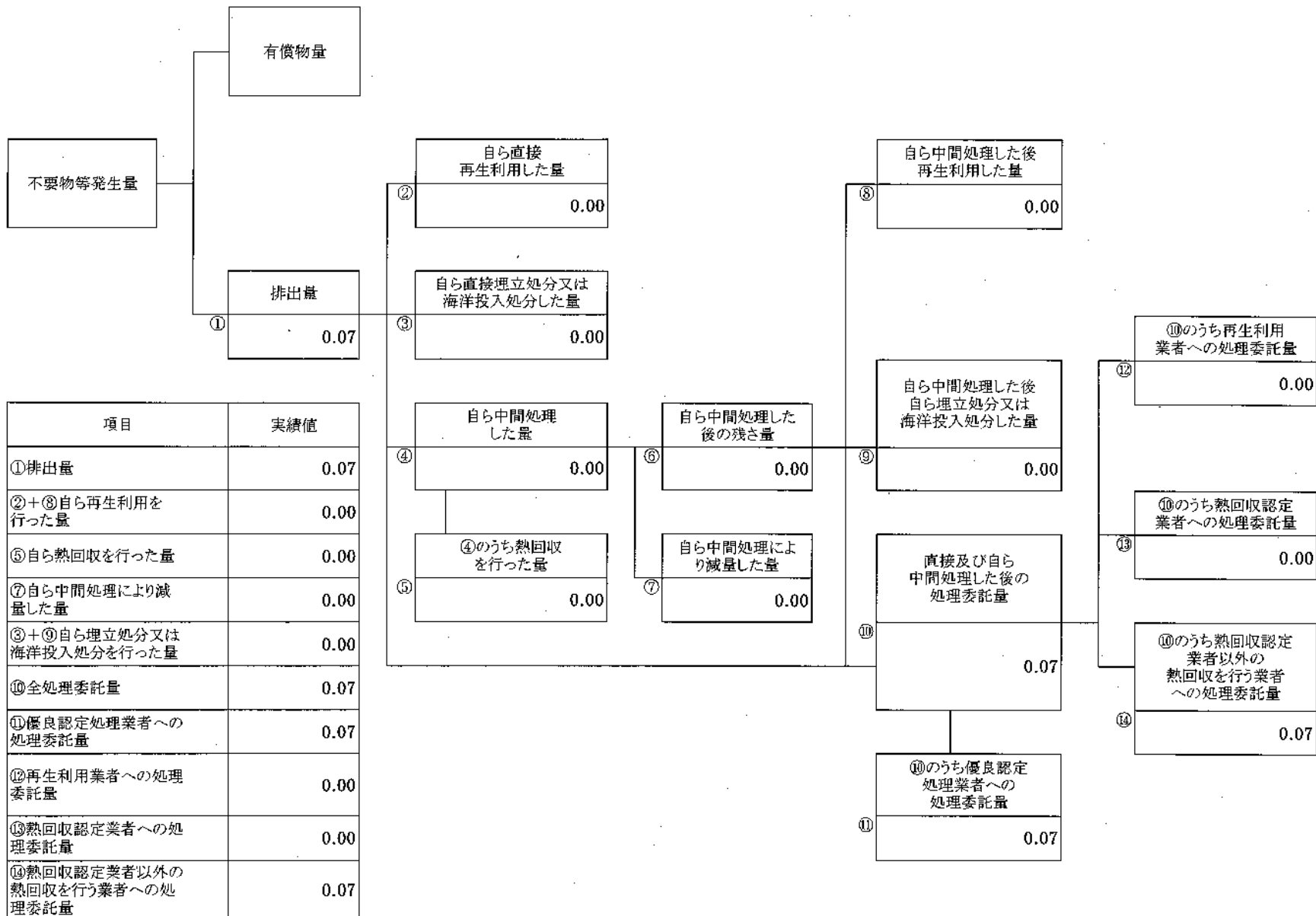
計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類:pH2.0以下の廃酸)



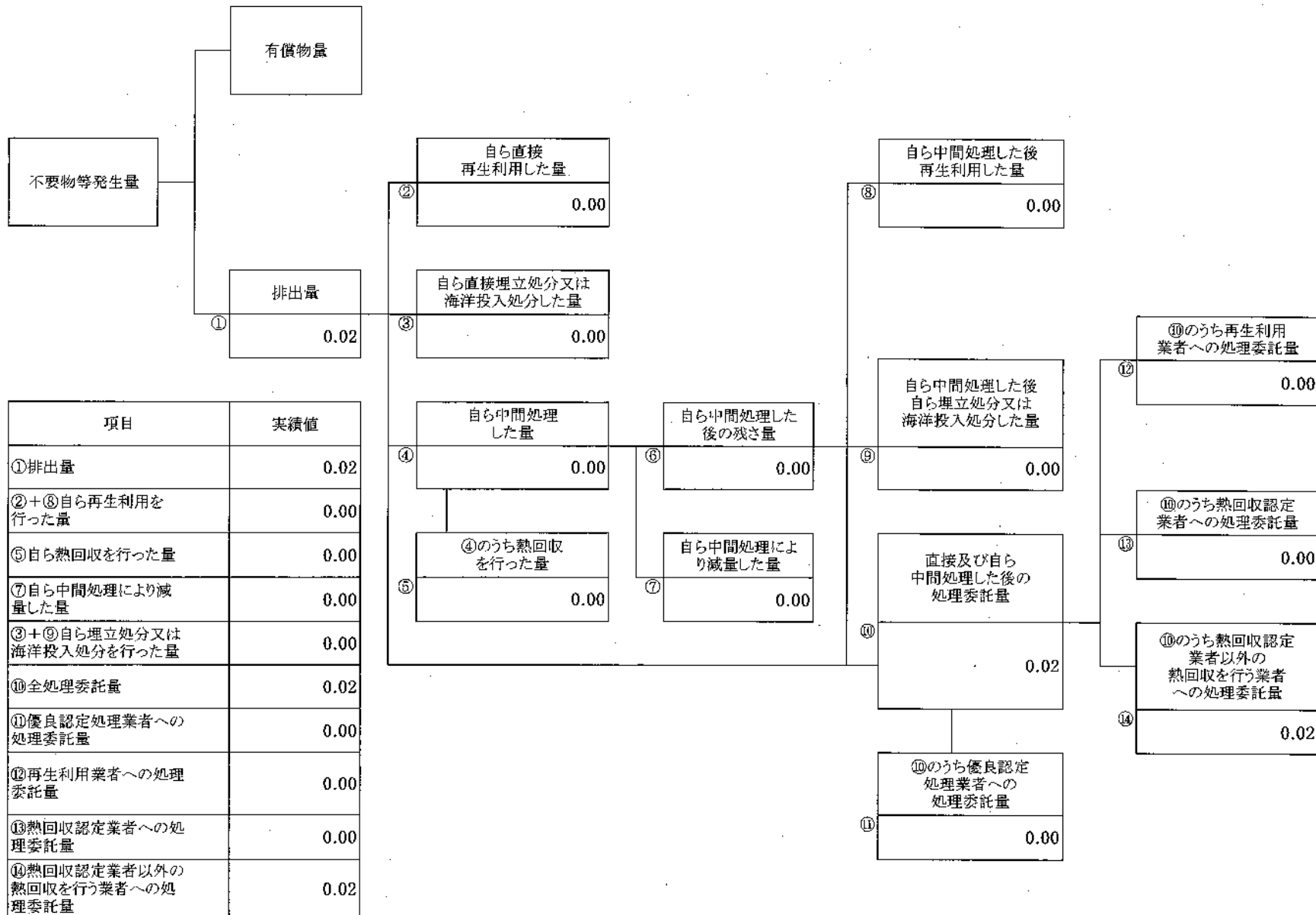
計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類:汚泥(基準値を超える有害物質を含むもの))



計画の実施状況(2024実績)

(特別管理産業廃棄物の種類: 感染性廃棄物)



特別管理産業廃棄物処理状況調査票

(No. 1)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	株式会社デンソー 広瀬製作所	従業員数 (人)	1,350	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	森川 憲一	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	—	建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	0565-46-6317	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	26,490,600	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		引火性廃油 有機溶剤類	腐食性廃酸 フッ素廃液類	特定有害汚泥 洗浄液鉛含	感染性産業廃棄物 医療廃棄物類	
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (R5 年 度 実 績)	a 不要物等発生量 (t/年)	23.17	63.59	0.07	0.02	
	b 有価物量 (t/年)	0	0	0	0	
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	23.17	63.59	0.07	0.02	
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0	0	0	0	
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0	0	0	0	
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0	0	0	0	
	⑥ 自ら中間処理した後の残量 (t/年)	0	0	0	0	
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0	0	0	0	
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	○ 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (○=⑥-⑧-⑨)	0	0	0	0	
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	23.17	63.59	0.07	0.02	
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	23.17	63.59	0.07	0.02	
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0	0	0	0	
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	23.17	63.59	0.07	0.02	
	処理方法	A・B・C・D E () E () (燃料化等)	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0	0	0	0	
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	23.17	63.59	0.07	0.02	
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)		23.17	63.59	0.07	0.02	
k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)		0	0	0	0	
l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)		0	0	0	0	

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破砕・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。